

伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターニュース

Vol.69

伊豆沼・内沼から
北へ旅立つマガンの群れ
また、秋に会える日まで

伊豆沼・内沼の再生を目指して

【第10回 伊豆沼・内沼自然再生協議会】

3月20日(土)、登米市にある南方農村環境改善センターで第10回伊豆沼・内沼自然再生協議会が開催されました。今年度は、希少な水生植物であるムサシモが発見されたり、ゼニタナゴが19年ぶりに再確認されるなど、沼の自然再生に関する新しいニュースが報告されました。その一方で、ハス群落の繁茂の影響か、夏季の沼の水底は無酸素状態で、水生生物の生息状況が厳しいことが報告され、新たな対策が必要であることも明らかになりました。また、今年度はサンクチュアリセンターのリニューアルもあり、子どもたち向けの環境学習の機会が増えました。委員からは、こうした活動を通じ、環境保全活動の輪がさらに広がることに期待する声も寄せられました。

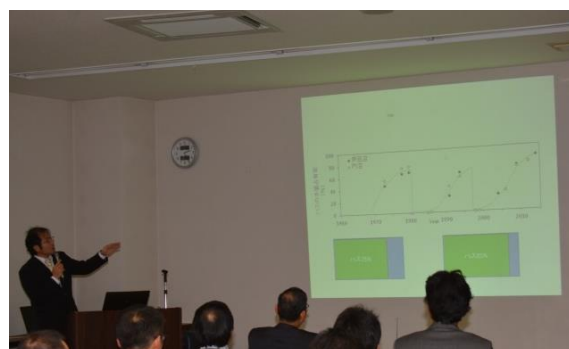


協議会のようす

【第10回 伊豆沼・内沼研究集会】

伊豆沼・内沼で生物や水質などさまざまな研究に取り組んでいる研究者が一同に集う研究集会が開催されました。約30人の参加があり、9題の発表がありました。

東北大学の藤巻氏からは、ハスの葉が繁茂する中、貧酸素状態の水底でメタンガスが発生し、そのメタンが沼の生態系に関わっていることが報告されました。国立環境研究所の有田氏からは、オオクチバスの放射能の動態についての報告がありました。その他、希少なトンボ類やザリガニによる水草への影響などの報告がありました。詳しい内容はHPでも公開していますので、関心をお持ちの方はご覧ください。



伊豆沼・内沼のハスについて発表する藤本研究員

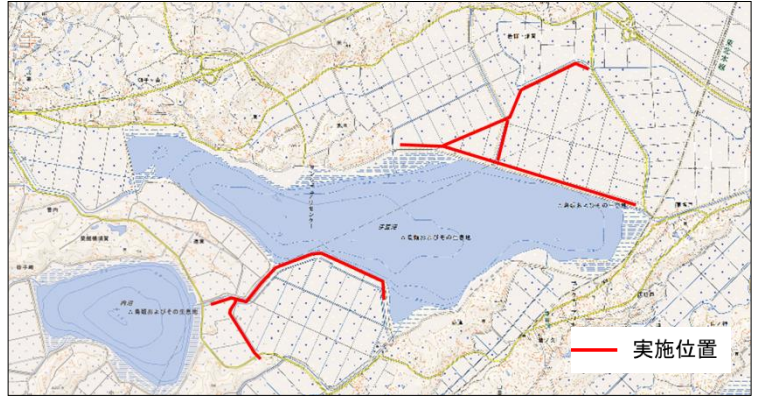
【野火による一斉清掃にご協力ください】

伊豆沼第2・第3工区堤防で、登米・栗原市の共催で漁業協同組合、地元土地改良区及び財団による野火(堤防の焼却)を実施します。火災とお間違えのないよう、よろしくお願いします。

実施日:平成28年3月12日(土) 8:00~12:00
(雨天、強風の場合下記日程に順延)
※3月26日(土), 4月2日(土), 4月9日(土)に順延
実施場所:第2・第3工区堤防敷き(下図参照)



三工区堤防での焼却作業(平成27年3月28日)



野火実施箇所

【第57回伊豆沼・内沼クリーンキャンペーン】

開催日:平成28年3月20日(日) 春分の日
雨天の場合は3月21日(月)

開会: 8:30 (受付は8:00から)
閉会:10:00 終了後センター見学



前回のようす

ガンへの暖冬の影響は？

今冬は例年にない暖冬でした。暖冬で積雪が少ないとガン類は北の地域にとどまる傾向があります。マガンは1月上旬に40,000羽ほどが春の中継地である秋田県八郎潟へ一度移動しました。このとき、八郎潟では雪がありませんでした。その後の寒波で再び伊豆沼へ戻り、例年通り2月上旬からの北帰行が始まりました。暖冬によって、いつもの冬とは異なるマガンの動きがみられました。



田んぼで落ちモミを食べるマガン

渡り鳥飛来情報(2/19)

| | |
|--------|----------|
| ガン類 | 62,225 羽 |
| ハクチョウ類 | 42 羽 |
| カモ類 | 3,331 羽 |
| 合計 | 65,580 羽 |



〈事務局〉
(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
〒989-5504 宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2
Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217
E-mail: izunuma@circus.ocn.ne.jp
ホームページ: http://izunuma.org/